

看護部
だより

ナースキャッツ

No.15

固定チームナーシングにおけるリーダーの役割



自分の課題を見つけられたように思います。

私は、研修担当者ですが、今回の講義で一番印象に残っていることは、受け持ち患者さんに看護を継続することが最も重要であるということでした。『自分が勤務していない時でも、看護が継続されているなら、チームに支えられているということである。』という先生の言葉は、これこそが固定チームナーシングだ！と心に響いてきました。

研修者から、経験を振り返るよい機会だった、情報を共有してがんばりたい、など前向きな意見がありました。中堅看護師は大きな力を持っています。講演会後のますますの活躍を期待します。また受け持ち看護師は、ま

ず、受け持ち患者さんに挨拶することから始まる。受け持ち看護師は情報管理の責任者である。患者さんの看護問題の解決に向けてあらゆる手段を用いて成果を出すこと。患者さん、家族の代弁者であること。など多くのことを再認識した研修会でした。⑧



初心者 リフレクシブ研修

大切な仲間

5東 小玉香里

今回、新人看護師が集まり、ならこの里へ行きました。日々慣れない業務に緊張し、楽しいことよりも、大変さを感じます。そんな中、久しぶりに同期の仲間へ会い、パーベキューをしたり、語り合うことができました。先輩と語り合う機会もあり、私たちは多くの方々に支えられていると感じました。覚えることも多く、一人前になるまでには、まだまだ遠い道のりですが、同期の仲間と励ましあいながら共に頑張ろうと思える、とてもよい時間を過ごすことができました。



7月7日 ならこの里パーベキュー

輝きナース

パート 1



外傷看護の研修参加

救急外来 赤堀 和子

昨年の4月から救急外来勤務となりハラハラドキドキの毎日を送っています。昨年はJPTEC、ICLSの講習を受け、実践に生かせる大変有意義な学習をしました。しかし、救急外来は様々な患者様を受診される部署で私は日々の業務に追われ、根拠に基付いた看護をするため勉強をする必要性を感じていました。その時、声を掛けていただいたのが防ぎうる死をなくすための救急初期対応、外傷看護の研修でした。大変楽しい講義でかつ刺激を受け学ぶものがたくさんありました。今後の救急看護業務に反映させたいと思います。